

書きそんじハガキキャンペーンの中間報告

日本ユネスコ協会連盟では、全国のユネスコ協会と連携し、昨年12月から今年3月を、書きそんじハガキ回収強化月間と位置づけ、「書きそんじハガキキャンペーン」を実施しました。全国の団体、企業、個人の皆さまより総計178,341枚の書きそんじハガキが届けられました。(4月21日までに集計を終えた枚数です) 皆さまのご協力で心から御礼申し上げます。

書きそんじハガキは多くの方々のご協力を得て募金になり、世界寺子屋運動の活動に役立てられます。



ステップ1：書きそんじハガキの回収

毎日のように、書きそんじハガキが届けられます。多い日には1日50件以上、年賀状シーズンには1ヶ月で約6万枚。届いたハガキには番号がつけられ、厳重に管理されます。



ステップ2：仕分け作業

ハガキは、当連盟事務局内でボランティアの方々のご協力を得て、1枚1枚手作業で数えられます。1時間で1000枚もの集計をしてしまう方もいらっしゃいます。



ステップ3：郵便局で切手に交換

郵便局員の方がハガキの回収に来局します。ハガキは郵便局で再度数えられ、1枚につき1割の手数料を引かれた金額で新しい切手に交換されます。



ステップ4：切手を現金化

切手は、毎月1回、富士通サポートアンドサービス株式会社さまにご購入いただき、現金化されます。(写真：総務人事部橋本さま)



ステップ5：募金として世界寺子屋運動における現地の活動支援に活用されます

1枚50円の書きそんじハガキは、現地の物価に換算すると、ネパールでは鉛筆7本、インドでは給食4人分、アフガニスタンではノート1冊とボールペン2本に相当します。

世界寺子屋運動の詳細はこちら <http://www.unesco.jp/contents/tera/index.html>

引き続き、書きそんじハガキを通じたご協力をよろしくお願いいたします。

プライバシーポリシーはこちら <http://www.unesco.jp/>